

「スワコ8ピークス・ミドル・トライアスロン」大会レポート

鈴木まさみ選手

2022.07.26

大会 : 2022年6月25日(日)
大会名 : スワコ8ピークス・ミドル・トライアスロン
場所 : 長野県諏訪湖・ハケ岳周辺スワコ8ピークス・ミドル・トライアスロン
使用アイテム: アスリートエックス「アンダーベース」「サンプロテクト50」

成績 : 総合記録 (110km) 5:00:50
 スイム(2km) 0:36:34
 バイク(78km) 2:40:12
 ラン(20km) 1:44:04
男女総合 84位
女子総合 6位
年代別 2位

<swim 2000m 0:36:34>

“伸びしろ十分…というより、もはや伸びしろしかない”と言われて久しいスイムパート。
コロナ禍の2年半、週2-3回、おひとりさまでのプール練習しかしておらず、久々のOWSはドキドキでした。コースは、片道500mを往復し、一旦上陸して計2周する周回コース。
前日の深夜は大雨でしたが、当日は朝から晴れて気温も上昇。水温も23℃と泳ぎやすいコンディションでした。1周目…思ったよりスムーズに泳げる…というか、私、速くなったかも!?!と思いましたが、それが新調したウエットスーツのおかげであることは疑いようがありません。適度にヘッドアップを入れながら、焦らず慌てず、安全第一で泳ぎました。

<bike 78km 2:40:12>

無事にswimを終えT1へ。バイクラックに到着して、ウエット脱いで袋に入れて…まずはヘルメット!! あれっ?ない!?!
と思ったら、風で飛ばされ隣のバイクの向こうに転がっていました。次回から、ハンドルの上に置くのはやめよう…と学習。ヘルメット、サングラス、ソックス、シューズを身に付け、いざトランジットを出ようと思ったら、swim用品を収納した袋を置く場所が気になり、何度か置きなおし。見かねた女性マーシャルの方が『もう大丈夫よ!』と声をかけてくれました。久々のレース、そして記念すべき第1回大会、コロナが収まらない状況下で開催して下さった貴重な大会だから、スピードよりも安全・丁寧・マナーを重視で。

諏訪湖を半周して折り返したあと“通勤道路”と称されるサイクリングロードのような道路を走ってハケ岳への登りに入ります。平均斜度5%が10kmほど続くので、ここは頑張りすぎずに淡々と。ただでさえ遅い登り…抑え気味に乗っていたらどンドン抜かれてちょっと凹みましたが、しかたない。マイペースマイペース。

登りが終わってエコーラインを折り返し地点までの距離を気にしながら、飛ばせるところは飛ばして挽回作戦。地元の方が応援してくれてすごく元気をもらいました。富士山も見えて、聞きしに勝る絶景をチラッと見ながら安全運転。復路の下りはDHとらずにハンドル持ってブレーキしながら安全に。あっという間に楽しいバイク78kmが終わってしまいました。事故なく終えられてホッとしたのが本音です。これで完走メダルは間違いなくゲットできると確信し、Runへ続きます。

<run 20km 1:44:04>

swim、bike と無事に終え、補給やペース配分もまずまず予定どおりにできていたこと、run のコースが普段からランナー専用コースで超快適なので、安心して走ることができました。約 2km 毎にあるエイドでは、地元ボランティアの方々が暑い中、一生懸命対応してくださり、また応援の声をかけてくれて力をもらいました。諏訪湖を周回するコースなので、日陰は無いかも…と覚悟していたけど、実際には木陰もあって快適です。沿道では地元の皆さんが応援してくれて、特に最終盤…高島城下を走るルートでは、地元の応援団とエールを交換し合うように走りました。フィニッシュは屋内の特設ゲート。あー、久々のフィニッシュゲート。そうだ…こんな感じだったよね…これだよ…このために練習頑張ってきたんだよね!! と思いながら、最後はなるべくカッコよく走って笑顔でフィニッシュ。

2 年半ぶりのレースは、久々に仲間に出会うこともでき、コロナ禍でのトレーニングの成果を確認することもできました。またここから成長できるように頑張っていきたいと思います。

